

令和2年度 紋別市立潮見小学校「外国語」「外国語活動」指導系列一覧表

学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
年間時数	35	35	70	70	
学年区分別目標	コミュニケーションを図る素地となる資質・能力		コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力		
学年区分到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 ○ 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 ○ 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 ○ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり、話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な用語を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 ○ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 		
週時数	週1時間		週2時間		
文字指導	文字を読み始める		文字を書き始める		
取り扱う語数	600～700語				
文法指導			日本語と英語の語順の違いに気付くことができる。		
学習領域	聞くこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]		聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くこと		
学習内容	言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・hello. ・How are you? ・I like blue. ・What sport do you like? ・What 's this? 	<ul style="list-style-type: none"> ・How's the weather? ・What day is it? ・What time is it? ・Do you have a pen? ・Why? 	<ul style="list-style-type: none"> ・When is your birthday? ・What do you have on Monday? ・Can you play soccer? ・Where is your treasure? ・What would you like? 	<ul style="list-style-type: none"> ・Where do you want to go? ・We have Sensoji temple in Tokyo. ・I went to festival. ・What is your favorite memory? ・What subject do you want to study hard?
	材料語	単文、肯定否定の平叙文、疑問文		単文、肯定、否定の平叙文、肯定、否定の命令文、助動詞、疑問詞、代名詞、過去形、動名詞	
Can-Do list活用	聞	簡単な表現を聞き取ることができる	身近で簡単な語句を聞き取り、表現の意味が分かる	具体的な話を聞き取ることができる	短い話の概要を捉えることができる
	話や	簡単な挨拶をしたり、それらに応じたりすることができる	サポートを受けて、質問をしたり質問に答えたりすることができる	基本的な表現を使って質問したり答えたりできる	その場で質問したり答えたりできる
	話発	実物などを見せながら話すことができる	実物などを見せながら、自分の考えや気持ちを話すことができる	自分のことについて伝える内容を整理して話すことができる	伝える内容を整理して自分の考えや気持ちを伝える
	読			文字を識別し、その読み方を発音できる	簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる
	書			簡単な語句や表現を書き写すことができる	例文を参考に書くことができる
	評価尺度	①自信がなく難しいと感じる ②何らかの補助があればできる		③自分一人ですることができる ④挑戦的な課題に取り組むことができる	
到達目標	※CAN-DOリストの各項目を4段階の尺度に分けた際に肯定的回答(「③自分一人ですることができる」「④挑戦的な課題に取り組むことができる」と回答した児童の割合		80%以上		
小中連携	相互授業参観、研究協議、指導方法等の情報交流				